

## 2017 年度

### 日本ダウン症療育研究会「赤ちゃん体操指導員養成コース」のご案内

#### 1) 出願資格

- ① 日本ダウン症療育研究会会員であること
- ② 医療、教育、福祉などの関連専門職種の有資格者であること  
医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、  
教員、保育士、心理士、社会福祉士など、その他幹事会が認めたもの

#### 2) 出願手続きと出願期間

- ・ 出願用紙：2017年7月1日より配布開始します  
ホームページお問い合わせフォームよりお申し込みください。  
住所（出願用紙送付先）を必ずご記入ください。
- ・ 出願期間：2017年7月1日～2017年7月15日（消印有効）の間に出願用紙を  
事務局宛に郵送してください。

#### 3) 参加許可者の選別

- ① 20名を越える応募があった場合は当研究会で参加者を選別します。  
所属の現場に赤ちゃん体操導入を予定されている方を優先します。
- ② 応募者の選別結果は、8月中旬に事務局よりご連絡します。
- ③ 参加決定者は受講料 40,000 円を所定の口座に振り込んでください。

#### 4) 受講証の発行

所定の単位を取得し、課題レポート提出が確認できた時点で、日本ダウン症療育研究会「赤ちゃん体操指導員養成コース受講証」を発行します。

#### 5) 研修期間

- \*講義 2017年10月21日（土）～ 2017年10月22日（日）
- \*実習 2017年10月23日（月）～ 2018年1月22日（月）  
別紙日程表より各自で履修スケジュールを作成していただきますが、  
ご希望に添えない場合もございます。

事務局：近畿大学医学部小児科学教室 篠原 徹  
〒 589-8511 大阪狭山市大野東 377-2  
TEL:072-366-0221 内線 6519（篠原直通）  
ホームページ: <http://plaza.umin.ac.jp/~JSCR/D/>

# 日本ダウン症療育研究会「赤ちゃん体操指導員養成コース」プログラム

## 2017年度 カリキュラム

講 義 科 目	(単位数)
ダウン症児運動発達評価法	(3)
ダウン症児の赤ちゃん体操	(3)
赤ちゃん体操演習	(2)
ダウン症の合併症 (先天性心疾患)	(1)
ダウン症の合併症 (血液・内分泌)	(1)
ダウン症の合併症 (整形外科)	(1)
新生児医療	(2)
カウンセリング理論	(2)
言語・コミュニケーション	(2)
摂食指導	(1)
成人期のダウン症者	(2)
地域医療	(2)
<b>合計 22 単位</b>	
実 習	(単位数)
赤ちゃん体操実習Ⅰ (兵庫県立尼崎総合医療センター)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅱ (近畿大学医学部)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅲ (大阪医科大学)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅳ (東京通信病院)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅴ (金沢医科大学病院)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅵ (おぐちこどもクリニック)	(2)
* 赤ちゃん体操統合実習 (兵庫県立尼崎総合医療センター)	(2)
<b>合計 8 単位 (*印は必修)</b>	
～同一医療機関での重複履修可～	
<b>合 計</b>	<b>30 単位</b>

「指導員」に関する内規

### 第3条

受講証の受理者が継続して赤ちゃん体操を実践指導し、本研究会へ3回以上出席した場合、「ダウン症赤ちゃん体操指導員」の認定証を申請することができる

\* 認定を希望する時点で事務局に申請用紙を請求する

2017年度 シラバス

講義科目(単位数)	担当者
ダウン症児運動発達評価法(3)	兵庫県立尼崎総合医療センター 西谷・杉村
生後より歩行獲得まで一般乳児の運動発達を観察・分析して得た動きやポーズを4系列(座位、立位、姿勢を変える、腹ばい)9ステップで捉え、ダウン症児が辿るべきステップとした。9ステップの到達標準月齢は、当療育を受けたダウン症児群の平均値をもって表示した。	
ダウン症児の赤ちゃん体操(3)	兵庫県立尼崎総合医療センター 杉村・西谷
運動発達ステップに連動して発達を促す体操プログラムを修得し、関節変形の防止、筋力向上、ならびに粗大運動の正常な発達へ導く力量を養う。また、体操を通して安定した親子関係への配慮を学ぶ。	
赤ちゃん体操演習(2)	兵庫県立尼崎総合医療センター 福岡希代子
運動発達のステップを正しく評価し、体操プログラムを十分に理解したうえで、個々の体操レシピを作成する際の留意点について、いくつかの具体的な症例をもとに検討する。	
ダウン症の合併症(先天性心疾患)(1)	近畿大学医学部小児科 篠原 徹
ダウン症の50%に心疾患を合併する。体操を実施するにあたり心疾患合併児をさけてとおることは出来ない。心臓の解剖および生理を理解するとともに、ダウン症に合併しやすい心疾患を知り、そのような児が体操を実施するにあたっての注意点について学ぶ。	
ダウン症の合併症(血液・内分泌)(1)	なんぶ小児科アレルギー科 南部光彦
ダウン症児は、甲状腺機能低下症や一過性骨髄異常増殖症などの血液・内分泌疾患を合併することがある。そのようなダウン症にみられやすい合併症について解説する。	
ダウン症の合併症(整形外科)(1)	大阪医科大学 藤原健太
ダウン症児の足、関節の特徴をつかむ。低緊張のため外反扁平足を認め、運動発達の遅れが見られることがあるが、個人差に応じた運動、装具療法を促す必要がある。また、約10~20%が環軸椎不安定を合併し、約1~2%に脊髄圧迫症状、脊髄損傷のリスクがある。そのスクリーニング法、リスク管理について学ぶ。	
新生児医療(2)	奈良県立医科大学 西久保敏也
新生児期のダウン症児への対応について； 新生児期のダウン症児の合併症と出生後のご両親に対する告知(染色体異常の成因を含めて)について学ぶ	
カウンセリング理論(2)	大阪心理臨床センター 手塚千恵子
胎生期から示される「他者への同調」が、いかに人間の「心の発達」にとって重要な能力であるかを、精神分析学の知見を用いて考えてみたい。	
言語・コミュニケーション(2)	大阪医科大学LDセンター 中島順子
問題点とコミュニケーションの意欲を育むかわり方について	
摂食指導(1)	村内歯科・兵庫県下支援学校講師 濱野淑子
出生後から始まる摂食機能の発達を学び、乳児期より取り組む口腔運動学習や段階的な摂食への促しについて話をします。	
成人期のダウン症者(2)	兵庫県立こども発達支援センター 野中路子
成人期でのダウン症者の特徴を、身体面、知的・精神発達面で解説する。種々の内分泌的、眼科的、耳鼻咽喉科的、整形外科的合併症は小児期から成人期にまで持ち越すため、健康管理がより重要であり、老化・退行に対する予防策を講じる必要がある。	
地域医療(2)	医療法人社団高原クリニック 高原周治
地域の診療所で関わっているダウン症児の事例検討を行い、現状の問題点と早期介入の効果を考察する。また、当院で開設している児童発達支援、放課後デイサービス、病児保育の現状について紹介する。合わせて、利用可能な療育、福祉サービスについても述べる。	

## 2017年度 日 程 表

### \*オリエンテーション

日時：2017年10月21日（土）9時00分～9時10分

場所：兵庫県立尼崎総合医療センター 講堂（1階）

### \* 講 義

場所：兵庫県立尼崎総合医療センター

	日 時	科 目	講 師
A	10月21日（土） 9:10～11:10	ダウン症児の運動発達評価法	西谷・杉村（兵庫県立尼崎総合医療センター）
B	10月21日（土） 11:20～12:40	言語・コミュニケーション	中島順子（大阪医科大学LDセンター）
C	10月21日（土） 13:30～14:50	成人期のダウン症者	野中路子（兵庫県立こども発達支援センター）
D	10月21日（土） 15:00～15:40	ダウン症の合併症（整形外科）	藤原健太（大阪医科大学）
E	10月21日（土） 15:50～17:10	地域医療	高原周治（医療法人社団 高原クリニック）
F	10月21日（土） 17:20～18:40	カウンセリング理論	手塚千恵子（大阪心理臨床研究所）
G	10月22日（日） 8:30～10:30	ダウン症児の赤ちゃん体操	杉村・西谷（兵庫県立尼崎総合医療センター）
H	10月22日（日） 10:40～11:20	摂食指導	濱野淑子（村内歯科・兵庫県下支援学校講師）
I	10月22日（日） 11:30～12:10	ダウン症の合併症（血液・内分泌）	南部光彦（なんぶ小児科アレルギー科）
J	10月22日（日） 13:00～14:20	新生児医療	西久保敏也（奈良県立医科大学）
K	10月22日（日） 14:30～15:10	ダウン症の合併症（先天性心疾患）	篠原 徹（近畿大学医学部）
L	10月22日（日） 15:20～16:40	赤ちゃん体操演習	福岡希代子（兵庫県立尼崎総合医療センター）

\*終了後実習についての説明など10分

### \* 実 習 （下表より3回選択する）

	日 時	場 所		日 時	場 所
①	10月23日（月） 9:30～12:30	兵庫県立尼崎総合医療センター	㉓	12月01日（金） 9:45～13:30	おぐちこどもクリニック
②	10月23日（月） 13:30～16:00	兵庫県立尼崎総合医療センター	㉔	12月01日（金） 9:00～12:00	東京通信病院
③	10月27日（金） 9:00～12:00	東京通信病院	㉕	12月01日（金） 12:30～15:30	東京通信病院
④	10月27日（金） 12:30～15:30	東京通信病院	㉖	12月06日（水） 13:00～15:00	金沢医科大学病院
⑤	11月01日（水） 13:00～15:00	金沢医科大学病院	㉗	12月07日（木） 10:30～12:30	近畿大学医学部附属病院
⑥	11月02日（木） 10:30～12:30	近畿大学医学部附属病院	㉘	12月07日（木） 13:30～16:00	近畿大学医学部附属病院
⑦	11月02日（木） 13:30～16:00	近畿大学医学部附属病院	㉙	12月08日（金） 9:15～13:00	おぐちこどもクリニック
⑧	11月08日（水） 9:45～12:00	大阪医科大学LDセンター	㉚	12月08日（金） 9:00～12:00	東京通信病院
⑨	11月08日（水） 13:00～15:00	金沢医科大学病院	㉛	12月08日（金） 12:30～15:30	東京通信病院
⑩	11月10日（金） 9:45～13:30	おぐちこどもクリニック	㉜	12月11日（月） 9:30～12:30	兵庫県立尼崎総合医療センター
⑪	11月10日（金） 9:00～12:00	東京通信病院	㉝	12月11日（月） 13:30～16:00	兵庫県立尼崎総合医療センター
⑫	11月10日（金） 12:30～15:30	東京通信病院	㉞	12月13日（水） 9:45～12:00	大阪医科大学LDセンター
⑬	11月13日（月） 9:30～12:30	兵庫県立尼崎総合医療センター	㉟	12月13日（水） 13:00～15:00	金沢医科大学病院
⑭	11月13日（月） 13:30～16:00	兵庫県立尼崎総合医療センター	㊱	12月15日（金） 9:00～12:00	東京通信病院
⑮	11月17日（金） 9:00～12:00	東京通信病院	㊲	12月15日（金） 12:30～15:30	東京通信病院
⑯	11月17日（金） 12:30～15:30	東京通信病院	㊳	12月20日（水） 13:00～15:00	金沢医科大学病院
⑰	11月22日（水） 9:45～12:00	大阪医科大学LDセンター	㊴	12月22日（金） 9:00～12:00	東京通信病院
⑱	11月22日（水） 13:00～15:00	金沢医科大学病院	㊵	12月22日（金） 12:30～15:30	東京通信病院
⑲	11月24日（金） 9:00～12:00	東京通信病院	㊶	12月25日（月） 9:30～12:30	兵庫県立尼崎総合医療センター
⑳	11月24日（金） 12:30～15:30	東京通信病院	㊷	12月25日（月） 13:30～16:00	兵庫県立尼崎総合医療センター
㉑	11月27日（月） 9:30～12:30	兵庫県立尼崎総合医療センター	㊸	12月27日（水） 9:45～12:00	大阪医科大学LDセンター
㉒	11月27日（月） 13:30～16:00	兵庫県立尼崎総合医療センター			

### \* 統 合 実 習

場所 兵庫県立尼崎総合医療センター

（下表より1回選択する）

	日 時		日 時
①	1月15日（月） 9:30～12:00	②	1月22日（月） 9:30～12:00
③	1月15日（月） 13:30～16:00	④	1月22日（月） 13:30～16:00

## ダウン症乳児の養育サポート人材育成をめざして

日本ダウン症療育研究会会長

大阪医科大学小児科教授 玉井 浩

1976年から兵庫県立塚口病院に開設されています「ダウン症児のための親子教室」では、藤田先生を中心に考案された「ダウン症児の赤ちゃん体操」で、数多くのダウン症児・者がすこやかに育っています。実践法を解説した著書は、ダウン症療育に関係する専門家だけでなく、ダウン症児の家族にとってもバイブルのような存在になっています。

正常な乳児発達過程を踏ませるための運動療法は、指導員が家族と1：1で向き合うサポートのもと、正しい理解を得た家族自身が毎日赤ちゃんと深く触れ合い家族の和を強める仕組みであり、根底に流れる藤田先生の熱い子育て思考と言えるでしょう。

この実践法を正しく理解し普及させるために、当研究会は2006年度以降、毎年、当研究会事業として「赤ちゃん体操指導員養成コース」を開設しています。実習施設では本テキストを基本に実践指導を行い、講義は指導員に正しく理解して頂きたいダウン症児の身体的諸問題、精神運動発達、言語コミュニケーション、カウンセリング理論など、幅広く提供しています。